なにが起こるのかわからない
それが路上
なにが起こるのかわからないまま
なにかが起こる
それが路上
誰と出会うのかわからない
それが路上
誰と出会うのか知らされないまま
誰かと出会う
それが路上
路上 それは不思議
路上 それは迷宮
路上 いつも謎ばかり

なにも起こらないかも知れない
それが人生
なにも起こらずに退屈なまま
死んでいくのさ
それが人生
誰とも出会わないかも知れない
それが人生
誰とも出会わずにひとりっきりで
でも楽しいな
それが人生
人生 それは地獄
人生 それは天国
人生 たいてい煉獄

路上と人生
人生と路上
路上と人生
人生の路上
わからない わからない
人生まったくわからない
とにかく繰り出してみよう
路上へ

（『路上 3』より）

★ 連続上演記念★
『路上1・2・3』戯曲集 受付にて限定発売中！！

■ティーファクトリー予告
・2010年3月 吉祥寺シアター
川村毅新作・演出、群集音楽劇？！『大市民』
・2010年秋
『新宿八犬伝 第五巻』（30周年記念公演、19年ぶりの新作！）

■ティーファクトリーオンラインチケット会員随時募集中！
お得な情報をいち早く！（登録料無料）
詳しくは→http://www.tfactory.jp

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター／ティーファクトリー 主催

『路上1・2・3』

2009年7月3日(金)～5日(日) 京都芸術劇場 studio21

作・演出＝川村 毅／主演＝小林 勝也

〈都市を彷徨う男が巻き込まれる悲喜劇、一時間一幕〉シリーズ『路上』

『路上』は劇作家・川村毅と俳優・小林勝也のあいだで、短くて遊び心に富んだ舞台を年に一回上演しようと2007年より企画されました。
基本的なコンセプトは、形而上的スラプスティックと銘打ち、上演時間一時間以内のふらりと立ち寄れる芝居。
各々は別の物語。路上を彷徨う男（小林勝也）が様々な事件や人々に巻き込まれます…

■CAST■

「路上1」

村上…小林勝也

田宮…真栄田貴豊　セシル…連木綿子（17:00公演）・堤 満美（19:00公演）

＊田宮役・セシル役は、京都造形芸術大学舞台芸術学科三回生

「路上2」

村上…小林勝也

ジョン…すがぽん　ノラ…柊アリス　五反田…伊澤 勉　キリコ…山崎美貴　男…森 耕平

「路上3」

村上…小林勝也

医者…笠木 誠　未亡人…山崎美貴　会社員…森 耕平　若い女…荘田由紀　青年…中村 崇

若い黒のアイパッチの女…柊アリス　ちょび髭…伊澤 勉　もみあげ…すがぽん　顎髭…藤側宏大

老女…蘭 妖子

■STAFF■

作・演出…川村 毅

「路上3」作曲…久米大作

美術・衣裳・舞台監督…小松主税

照明…佐々木真喜子〈ファクター〉

音響協力…原島正治

舞台協力…村田 明

演出部…波田野淳紘

照明操作…萩原翔太〈ファクター〉

演出助手…山本志保〈京都造形芸術大学 舞台芸術学科3回生〉

宣伝美術…杉原邦生〈京都公演〉

宣伝写真…須藤秀之

宣伝美術協力…マッチアンドカンパニー

運搬…マイド

【主催】京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
（担当…岩村原太　北本麻理　土屋和歌子）
ティーファクトリー TFACTORY

【協力】SPACE 雑遊／池林房 太田篤哉
京都造形芸術大学 舞台芸術学科
3D

【企画・制作】平井佳子／ティーファクトリー

【問合せ】京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
TEL：075-791-9437　FAX：075-791-9438　MAIL：info@k-pac.org

【料金】全席自由

一般 前売2,500円／当日2,800円　学生＆ユース 前売2,000円／当日2,300円　中・高校生 1,000円（前売・当日共）

『路上1・2・3』セット券　一般5,000円　学生＆ユース4,000円　中・高校生2,500円

【お申込】

・京都芸術劇場チケットセンター　TEL＝075-791-8240（平日10～17時）

・劇場オンラインチケットストア
パソコン＝http://www.k-pac.org/
携帯電話＝http://www.k-pac.org/theatre/m/m
※要会員登録（無料）　※オンラインでの取り扱いは一般のみとなります

『路上1・2・3』京都公演について

京都造形芸術大学・舞台芸術研究センターは、2009年度より、渡邊守章 新センター長の下で、新たな研究活動をスタートさせています。この大学に、はじめて舞台芸術コースが誕生してから早くも今年で10年目。来年は、舞台芸術研究センターと、京都芸術劇場（春秋座／studio21）がともに10周年を迎えようとしています。大小二つの本格的な劇場施設をもち、かつ教育機関と研究機関を併せ持っているような組織は、舞台芸術に関するかぎり、依然として日本ではこの大学が唯一といってよいと思われます。問題は、それだけの高いポテンシャルを、どのように現実化していくか？ まったく異なる顔をもつ「大学」と「劇場」が、あるいはアーティストと学生・大学院生等が一体となって、いかに創造的な場を構築し、発信していくことができるかが、私たちの今後にとっての大きな研究テーマだと考えています。今回上演する『路上1・2・3』は、川村毅（本学舞台芸術学科学科長でもあります）とティーファクトリーが東京で制作した質の高い舞台作品をたんに京都で上演する、というだけにとどまらず、あえて一部のキャストを学生のオーディションによって選抜することによって、プロフェッショナルな創造現場と学生の教育現場を接続することを目的のひとつにおいています。ある意味では、それはリスクをともなうことであり、プロの俳優が演じるよりも完成度においては劣るかもしれません。けれども、とくに私たちのような「大学＝劇場」は、目先のことだけでなく、ときには将来を見据えた「投資」も積極的に行っていかなくてはなりません。『路上』は、この大学の「舞台芸術」という場が成熟し、5年後、10年後に輝かしい才能を輩出するための新たな出発点として考えています。そして、なんといっても『路上』というこの作品特有の構造と持ち味そのものが、そういう企図にふさわしい、開かれた作品であることを確信しています。

森山直人（京都造形芸術大学舞台芸術学科准教授／舞台芸術研究センター主任研究員）

■■ 作・演出の川村毅氏に5つの質問！■■

Q1＝この『路上』シリーズをはじめたキッカケは何だったのでしょうか。

肩ひじ張らずに、まじめに遊ぼうという勝也さんとの話で生まれました。
稽古期間も10日間ぐらいで、ということで。そうして色々な俳優及びダンサーたちとの出会いを画策しました。

Q2＝川村さんからみた俳優・小林勝也さんのいちばんの魅力は何でしょう？

フレキシビリティーです。
新劇、アングラ、小劇場という区分が今どれだけ有効か不明ですが、様々な文体の適応能力を兼ね備えた名優です。

Q3＝『路上1・2・3』それぞれの見所をズバリ一言でお願いします。

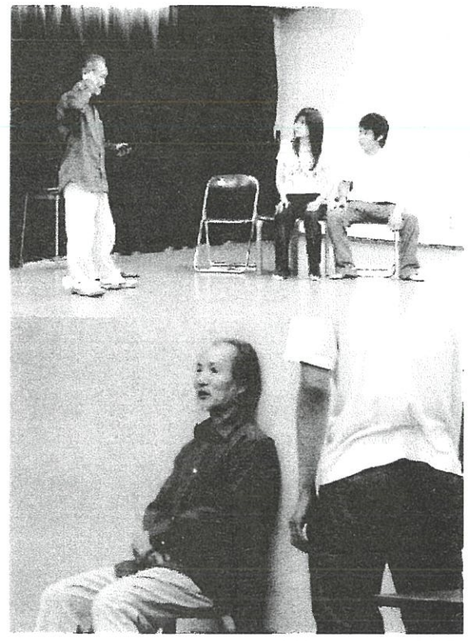
『路上1』　台詞！！
『路上2』　ダンス！？
『路上3』　ミュージカル！？

Q4＝実際の路上で見かけたおもしろエピソードを教えてください。

多すぎて短くまとめられません。
おもしろエピソードを劇にそのまま取り上げています。
ですから、とりあえずその一部が「路上」で描かれています。

Q5＝最後に京都のお客様に一言。

笑って許して。



▲京都でのリハーサル風景

川村 毅［かわむら・たけし］http://www.tfactory.jp/

劇作家、演出家。ティーファクトリー主宰。
1980年明治大学政経学部在学中に第三エロチカを旗揚げ。2002年自作プロデュースカンパニー、ティーファクトリーを設立、以降発表の拠点としている。
「新宿八犬伝　第一巻 - 犬の誕生 -」にて1985年度第30回岸田國士戯曲賞受賞。1996年ＡＣＣ日米芸術交流プログラムのグランツを受けＮＹに滞在。1998年ニューヨーク大学演劇学科に客員演出家として招かれる。
近年の主な作品に、＜神なき国の夜＞三部作、作・演出（2005-2008年ティーファクトリー）、「オトコとおとこ」(2006年文学座アトリエ公演・書き下ろし)、「アルゴス坂の白い家」(2007年新国立劇場公演・書き下ろし)、「ハムレットクローン」作・演出（2003年ドイツ、2004年ブラジルツアー）、E.イェリネク作「ウルリーケ メアリースチュアート」(2008年TPT・台本、演出）等。2003年世田谷パブリックシアターと京都造形芸術大学舞台芸術センター共催公演として初演の作・演出作品「AOI／KOMACHI」は、2007年国内ツアー・ＮＹ他北米ツアーにて再演。英・仏・独・伊語に翻訳され、出版や現地でのリーディング公演などが行われている。京都造形芸術大学舞台芸術学科教授。日本劇作家協会、日本演出者協会会員。

小林勝也［こばやし・かつや］

文学座所属。2003年度、04年度、08年度読売演劇大賞・優秀男優賞受賞。
川村毅作品出演作に、「牛蛙」(2001年藤原新平演出)、「バラード」(2003年藤原新平演出)、「オトコとおとこ」(2006年高橋正徳演出)、以上、文学座アトリエ公演。ティーファクトリー第1回公演「アーカイヴス」(2002年)、新国立劇場公演「アルゴス坂の白い家」(2007年鵜山仁演出)など。